

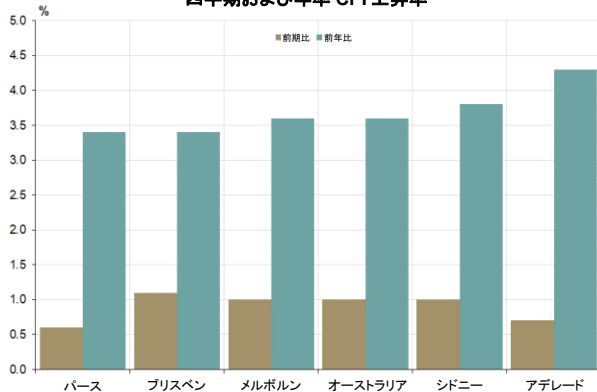
今月の西オーストラリア州関連データハイライト

- 第1四半期のパースの消費者物価指数(CPI)は前期比で0.6%、前年同期比では3.4%上昇した。
- 西オーストラリア州の3月の小売売上高は0.6%増加し、前年同月比では2.5%増を記録した。
- 西オーストラリア州の3月の雇用者数は700人増加し、前年同月比4.1%増となった一方で、失業率は3.4%に低下した。
- 西オーストラリア州の3月の住宅承認件数は1.5%増加し、前年同月比では21.4%増となった。

西オーストラリア州の第1四半期の消費者物価指数

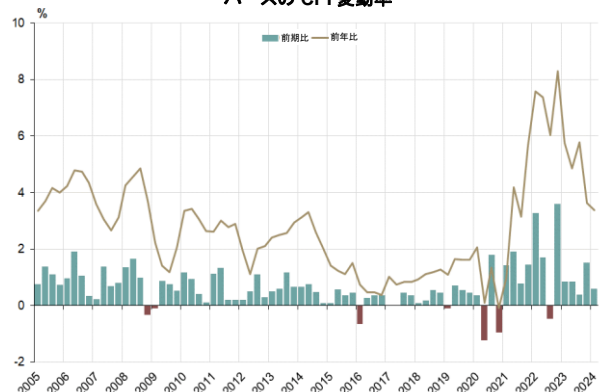
- 2024年第1四半期のパースのCPIは前期比で0.6%上昇した一方、前年同期比では前期を0.2ポイント下回る3.4%となった。これは2021年第3四半期以来、最も低い水準であるだけでなく、本土の州都の中で最も低い数値となった。
- 第1四半期のパースでは新築住宅価格および賃料がそれぞれ3.6%と2.9%上昇し、引き続きCPIの上昇を牽引する主要因となった。しかし西オーストラリア州政府が打ち出した家庭向け電気料金補助金によるベース効果と、電力料金の自己負担費用を軽減する全国的な電力料金救済基金の影響によって電力価格が18.1%下落したことで、この上昇分は完全に相殺された。その結果、住宅カテゴリー全体としては第1四半期のパースのCPI上昇には寄与しなかった。
- パースの第1四半期のCPIを大きく押し上げたのは教育およびヘルスケアであり、この傾向はオーストラリア全土に共通していた。第1四半期には年次の教育費の引き上げによって教育費が5.0%上昇し、一方、医療費は診察報酬と Medikare および医薬品給付制度の基準値の年次改定のために2.3%上昇した。保険料はさらに4.1%上昇した。
- パースのCPI上昇率の基調的な指標を見ると、第1四半期には食品とエネルギーを除くCPIが1.2%上昇し、前年同期比の上昇率は4.2%と前四半期を0.4ポイント上回った。「変動の大きい」項目を除いたCPIは前四半期比0.7%、前年同期比では3.4%上昇し、同3.7%を記録した2023年第4四半期から減速した。
- サービス価格のインフレ率は前四半期比で1.2%、前年同期比では4.1%上昇し、一方、物品価格のインフレ率は前四半期比で0.2%、前年同期比では2.7%上昇した。

四半期および年率 CPI 上昇率



資料:ABS

パースのCPI変動率



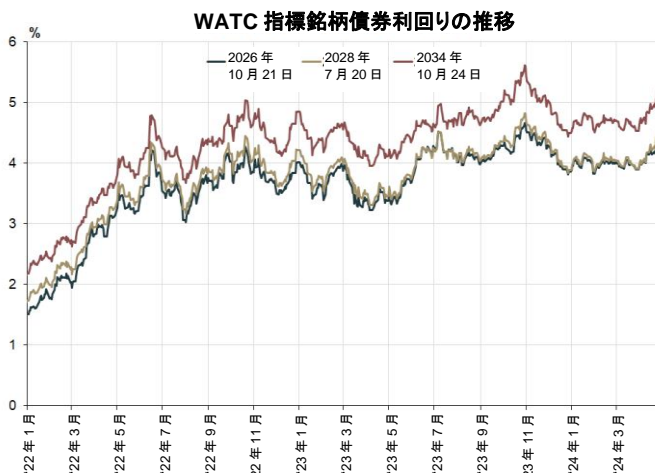
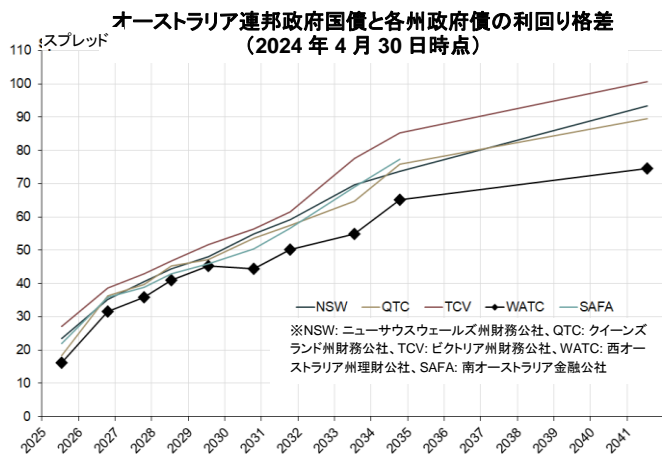
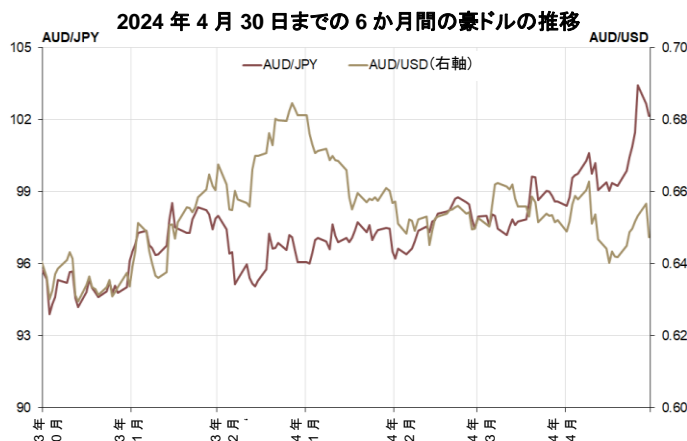
オーストラリア金利 (%)			為替と株価	
RBA 政策金利目標	4.35	(0 pt)	AUD/USD	0.6473 (↓0.7%)
90 日銀行手形	4.41	(↑6 pt)	AUD/JPY	102.15 (↑3.6%)
連邦政府 3 年国債	4.04	(↑42 pt)		
連邦政府 10 年国債	4.42	(↑46 pt)	ASX200	7664 (↓233 pt)

市場概況

- 4 月は RBA 金融政策会合は開かれなかった。
- 4 月には、オーストラリアと米国のインフレ率が予想を上回ったことで、トレーダーが中央銀行による利下げ予想を後退させる中、豪ドル建て債の利回りは月間を通じて上昇し、2023 年 11 月以来の高値をつけた。オーストラリアの政策金利の先物カーブは現在、RBA が年内に利上げを行う可能性を織り込んでいる。
- 豪ドルは対米ドルで下落したものの、他の G10 通貨バスケットに対しては上昇した。円に対しては 4 月 26 日に終値ベースで 1 豪ドル=103.45 円と 11 年ぶりの高値をつけた後、月末には下落した。
- 債券利回りが上昇し、トレーダーが RBA による利下げ予想を撤回する中、4 月のオーストラリア株式市場は月間としては 6 か月ぶりに下落し、ASX 200 株式指数は 3% 近く値下がりした。不動産および一般消費財・サービスを中心に、主要セクターのほとんどが下落した一方で、公益事業および素材セクターのみが上昇した。

WATC 指標銘柄債券の利回り				
満期	利回り		AGS スプレッド	
	2024 年 4 月 30 日		2024 年 4 月 30 日	
2025 年 7 月 23 日	4.45	(↑36 pt)	+16 pt	(↑4 pt)
2026 年 10 月 21 日	4.37	(↑47 pt)	+32 pt	(↑8 pt)
2027 年 10 月 21 日	4.40	(↑52 pt)	+36 pt	(↑8 pt)
2028 年 7 月 20 日	4.46	(↑56 pt)	+41 pt	(↑9 pt)
2029 年 7 月 24 日	4.55	(↑56 pt)	+45 pt	(↑9 pt)
2030 年 10 月 22 日	4.68	(↑55 pt)	+44 pt	(↑10 pt)
2031 年 10 月 22 日	4.80	(↑55 pt)	+50 pt	(↑7 pt)
2033 年 7 月 20 日*	4.93	(↑55 pt)	+55 pt	(↑9 pt)
2034 年 10 月 24 日	5.11	(↑57 pt)	+65 pt	(↑8 pt)
2041 年 7 月 23 日	5.48	(↑49 pt)	+75 pt	(↑4 pt)

スプレッドは最も近いオーストラリア連邦政府債に対するもの。* グリーンボンド。



この資料に含まれるいかなる見解、判断、結論、予測、予想、見積もりも、西オーストラリア州理財公社に提供され、同公社が信頼できると確信している情報に依拠して作成されたものです。しかし、同公社はそうした情報の正確性を保証するものではありません。よって、いずれの提案も誠実になされるものとはいえ、あくまでも各々の判断を下す上での材料として提供されるものであり、特定事案に対する専門的な助言に代わるものとするを意図されたものではありません。この資料でなされる提案の採否を判断する前に、各々の特定のニーズや状況について西オーストラリア州理財公社とご検討いただくことを強くお勧めします。